

高度封じ込め施設内で実施されている作業内容に関する報告

ウイルス第一部

第一室長 下島昌幸
部長 西條政幸

前回の協議会以降、10月までは高度封じ込め施設内で作業は行われませんでした。11月以降の作業内容は以下の通りです。

○感染性ウイルスを用いた一類感染症の検査法の整備

目的：感染性のある一種病原体を用いて、より精度の高い検査法を整備すること

実施期間：2019年11月～（作業の人数や要した時間は下表にまとめた）

作業内容：入手した病原体の容器の表示を確認するとともに、2つの保管庫に分けて保管しなおした。病原体を増殖させるのに必要な機器の動作性を確認した。

今後：ウイルスを増殖させ、その力価測定を行なう。中和抗体測定法を整備する。

備考：作業期間中、暴露事故等は発生せず、施設も適切に維持された。

2019年11月22日現在

作業年月	実験室機能	作業人数	作業時間(およそ)	作業内容		その他特記事項
				感染性ウイルスを用いた一類感染症の検査法の整備	滅菌処理	
2019年11月	問題なし	3	2	○		病原体は用いていない
	問題なし	2	1	○		
	問題なし	2	0.5	○		
	問題なし	2	0.5	○		
	問題なし	3	2	○		